

平成27年度 病害虫発生予察情報 注意報 第3号

平成27年5月26日
発表：福島県病害虫防除所

- 1 対象作物：モモ
- 2 病害虫：モモせん孔細菌病（本年度2回目）
- 3 対象地域：中通り
- 4 発生量：多い

**今後、雨・風に伴い、激発するおそれがあります。
梅雨入り前に、春型枝病斑、被害葉・果実の除去を徹底しましょう！**

予報の根拠

- (1) 5月中旬の調査において、福島地域、伊達地域ともに春型枝病斑の発生ほ場割合が平年よりも高かった（図1）。
- (2) 5月中旬の調査において、伊達地域の新梢葉での発生ほ場割合が平年よりも高かった（図2）。

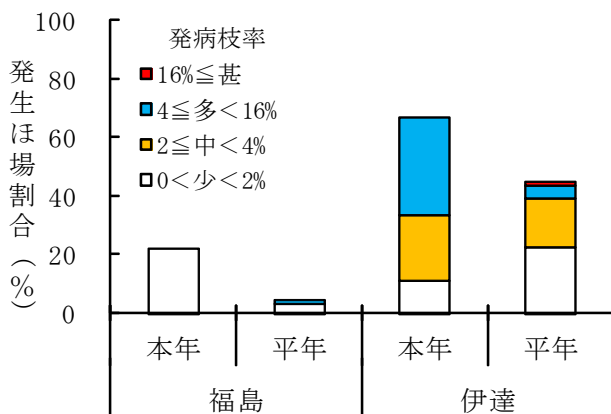


図1 春型枝病斑の発生状況（5月中旬）

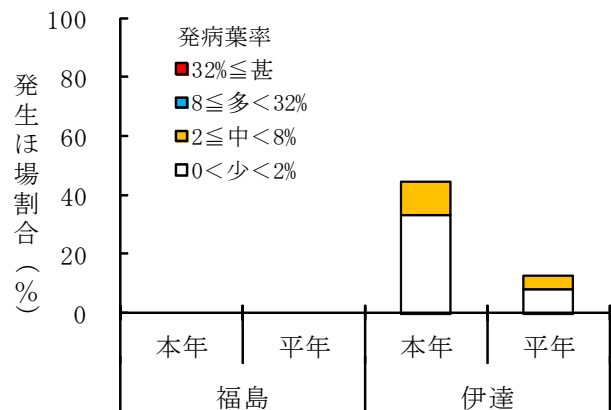


図2 新梢葉での発生状況（5月中旬）

防除対策

(1) 耕種的防除

- ・ほ場での発生状況をよく確認し、春型枝病斑または疑わしい枝を徹底して除去する。また、被害葉や被害果実は二次伝染源となるので、徹底して除去する。除去した枝、葉、果実は、園外に持ち出し、土中に埋設するなど適切に処分する。
- ・発生が多いほ場では、6月中旬頃まで（梅雨入り前まで）にできるだけ早く果実に袋かけを行う。
- ・今後の発病を抑制するため、防風ネットや防風林を設置し、防風対策を行う。

(2) 薬剤防除

- ・今後、梅雨期を迎えるため、天候に留意しながら、7月まで10日ごとにせん孔細菌病防除剤を散布する。その際は、薬剤の使用濃度、収穫前日数等の農薬使用基準を遵守し適正に使用する。また、同一薬剤の連用は耐性菌の出現リスクを高めるので、連用せずにローテーションで使用する。

●情報内容への質問や要望は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病害虫防除所）までご連絡ください。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727